

令和８年度 第1回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	令和８年６月２日（火） 13:00～14:20
場所	豊橋市中央図書館 集会室
委員	出席定数12名 11名出席
事務局	6名
議事	議題 （１）令和７年度図書館利用状況（速報値） （２）令和８年度豊橋市図書館資料収集方針 （３）令和８年度主要事業 報告事項 （１）中央図書館大規模改造等 進捗状況について
配付資料	議題 （１）令和７年度図書館利用状況（速報値） （２）令和８年度資料収集の基本方針、資料収集の重点目標 （３）令和８年度主要事業 報告事項 （１）中央図書館大規模改造基本設計図書（抜粋）

<議事概要>

議題

（１） 令和７年度図書館利用状況（速報値）

事務局より、配付資料に基づき説明。委員より以下の意見があった。

【委員】

全国の図書館利用状況のデータはあるか。来館者数の目標値はあるか。

（事務局）

日本図書館協会が発行している統計がある。来館者数の目標値は、豊橋市図書館基本構想において１８０万人としている。

【委員】

目標を達していないという認識か。

（事務局）

目的を達成していないという認識である。参考として、7年度の来館者数1,158,597に、とよはしアーカイブ利用件数790,496を、加えると180万を超えている。

（２）令和８年度豊橋市図書館資料収集方針

事務局より、配付資料に基づき説明。委員より以下の意見があった。

<質疑応答>

【委員】

利用頻度の高い資料とはどのようなものか。

（事務局）

一定の予約件数がある場合、上限はあるが、1冊につき10件以上の予約が入ることで1冊を加えて購入するといった基準がある。

【委員】

本の著者に著作権料が払われないという状況がある。多く借りられすぎると著者に利益がもたらすことができなくなる。健全な形で購入を意識してほしい。

【委員】

資料の収集は購入が基本であるか。中古を購入することもあるか。

（事務局）

流通している本については、原則として購入している。郷土資料は、寄贈の場合もある。

【委員】

サーキュラーエコノミーといった資源循環の考えを具体化していることがあれば教えてほしい。例えば、自治体等との共用はあるか。

（事務局）

他の自治体や大学から本を取り寄せる制度がある。愛知県内や東海北陸の公共図書館の本については愛知県図書館経由で借りることができるため、送料の負担をせずに借りることができる。

【委員】

寄贈は、どこで受け付けているか。

（事務局）

郷土資料について中央図書館 2 階のレファレンスカウンターで受け付けている。

【委員】

古書についてはどのように購入しているか。

（事務局）

古書カタログの中で郷土資料をチェックして古書店から購入するケースがある。数年前羽田八幡宮文庫の旧蔵資料を購入した。

【委員】

以前予約したら順位が 180 番目ぐらいになったことがあった。その際複本が7冊ほどあった。自分で購入してもいいかと思ったことがある。複本の購入については、上手に運用して欲しい。

（３）令和 8 年度主要事業

事務局より、配付資料に基づき説明。委員より以下の意見があった。

【委員】

まちなか図書館のイベント名が分かりづらい。

（事務局）

参考にさせていただく。

【委員】

とよはしアーカイブについて利用者が多くなっており、ニーズがあると思う。コンピュータを使い慣れているユーザが利用していると思うが、利用者層は、わかるか。

（事務局）

年代など利用者層はわからない。

【委員】

デジタルアーカイブは世界中で利用されており、充実していくべきだ。ただ、やみくもに増やさずに、郷土資料に関連するものを増やすといいと思う。資料はダウンロードできるか。

（事務局）

ダウンロードできない形になっており、制限されている。メディアの方は使用目的を確認の上、掲載許可をさせていただいている。2次使用を希望される場合は、ご一報いただくよう案内している。

【委員】

外注しているか。

（事務局）

以前は外注していたが、自前で搭載することも可能である。

【委員】

図書館の実技研修講座の中で、とよはしアーカイブをどういうふうに使っていったらいいかを教員と司書に対して研修を行う。児童一人にタブレットが配布されているため、授業の参考になるようにしたいと思っている。

読書感想文講座について1年生以外にも対象者を広げることを検討してほしい。

（事務局）

とよはしアーカイブを児童に利用してもらえよう周知していきたい。豊橋っ子調べ学習コンクールのチラシに、とよはしアーカイブのQRコードを掲載しているため、利用促進につながればいいと思っている。

ホームページに「読書感想文 虎の巻」を用意している。また、読書感想文講座については1年生以外にも対象者を広げることを検討していく。

【委員】

今年度からコミュニティスクールを各学校で地域の方を含めて行っている。市政100周年の校区資料のように地域学習に使いやすい郷土資料があるといい。読書感想文教室を開催したが、様々な年代の方に参加いただき、自分の感想の書き方が分かる喜びを教えることができた。このような取り組みを充実してもらえたらいいと思う。

【委員】

調べ方の手がかりも含めて図書館が教えることができるとよい。

【委員】

小学校不登校の生徒が3倍に増えており、中学校は2倍に増えている。学校に行っていない生徒が、本を読んでおらず、YOUTUBEばかり見ており、心配している。今年度地域教育推進室が所管で陽だまりスペースが始まっている。東部生涯学習センターや北部生涯学習センター、動物愛護センターの3か所で開催されている。図書館に不登校の子が行ってもいいということを取り組めるものがあるといいと思う。また、図書館を退官したようなボランティアが読書感想文を教える機会があってもいいと思う。

（事務局）

すぐできるものではないかもしれないが検討したい。

【委員】

X、Instagram、ライン、HP、ブログ、YOUTUBEを行っている。本当に必要か。若者に響くように整理したらどうか。

（事務局）

職員の負担軽減や属人化を防いでいきたい。ターゲットに着目して紙媒体も含めて対応していきたい。

報告事項

（１）中央図書館大規模改造等 進捗状況について【非公開】

事務局より、配付資料に基づき説明。委員より以下の意見・質問があった。

【非公開部分】